



ほほえみ 第90号

先月は、桜の開花を心待ちにしていたのですが、桜の季節も足早に過ぎ去って新緑の季節となっています。ゴールデン・ウィークにお出かけされた方も多いのではないのでしょうか。私自身は、庭の雑草を取ったり、家の掃除をしたりの合間に、本を読んだりして時間を過ごしました。早咲きのバラの蕾が上がってきており、開花が待ち遠しいですね。

メッセンジャーナース

昨年12月に東京に出かけた際に、メッセンジャーナースをされている方とお会いする機会がありました。メッセンジャーナースというのは、村松静子先生が始められた試みです。

メッセンジャーナースとは、看護の本質に迫る看護師として、療養者・家族に寄り添い、医療の受け手と医療者をつなぐ架け橋となる看護師のことである。『メッセンジャーナース』（看護の科学社）

とされています。

村松静子先生は、日本の社会に在宅看護という分野を創出された方です。今では、日本全国に訪問看護ステーションがあって、在宅看護が当たり前のように行われていますが、実は、昔からあった訳ではなく、社会のニーズを汲み取られた村松先生が、切り拓かれたものなのですね。

がん哲学外来を始められた樋野先生といい、今までないものをゼロから始めるというのは難しいのですが、その存在自体が心浮き立つところもあります。素晴らしい絵画を見たり、優れた音楽を聴くのと似たところがあります。在宅看護を創出した貢献により、村松先生は、フローレンス・ナイチンゲール記章という、医療界でも最高の賞の一つを、2011年に授与されています。

在宅看護を創出するだけでも大事業なのですが、さらに、2010年10月にメッセンジャーナースの活動を始められたのです。その直後に、東日本大震災が起こり、早速、福島でも活動されていたとのこと。災害の場面も医療の場面も共通するところは、人を繋ぐ部分かもしれません。人づてに伺ったところでは、変にアグレッシブという意味でなく、大変行動的な方ようです。

軽やかでないと、新しいことは始められない・・・
というのは、いかなる分野においても真実なのでしょう。しかも、メッセンジャーナースの本を読むと、「メッセンジャーナース研鑽セミナーにおける52の事項」というのが記載されているのですが、52もの項目を提示するというのは、普通はできないことなので、丁寧な行き届いた方であろうということも、十分読み取れますね。



フローレンス・ナイチンゲール記章
(wikipediaより)

今年の石割桜

4月は肌寒い日が多かった印象ですが、ちょっと春めいた瞬間に、盛岡の桜はあっという間に満開となりました。週末に石割桜を見てきたのですが、やや葉桜になっていました。

心なしか、今年は花数が少なかったのではないかと恐れましたが、それでも毎年見る者に感動を与える開花ですね。石割桜の方が、裁判所より古いと思いますが、石割桜のそばに裁判所を建てるとするのは意図があるのでしょうか。

桜は、咲く場所を選べなかったとは思いますが、何か桜の意思のようなものを感じずにはいられないですね。



チューリップの開花

4月下旬から、様々な花が開花していますが、ようやくチューリップが開花しました。植えっぱなしで、世話はしていなかったのですが、花数はやや少ないものの結構綺麗に咲きました。プルモナリアやペロニカ・オックスフォードブルーも開花し、少しずつ庭の華やぎが増えています。5月には、早咲きのバラが咲き始めるので、我が家では、一番花に包まれた季節となります。

バラの蕾が上がってきているので、来月はバラの開花の写真をアップできるのではないかと思います。



MEMO

5月のがん化学療法科の予定

5月1日	診療応援(平出先生)
5月3-6日	ゴールデンウィーク後半
5月8日	診療応援(工藤先生)
5月15日	診療応援(平出先生)
5月18日	新渡戸稲造記念メディカル・カフェ
5月22日	診療応援(工藤先生)
5月29日	診療応援(平出先生)

